

日刊 發行兼編輯人 川崎文治 本社下同番地 (電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所

常盤新聞

刊夕日一月三

定部金貳錢 廣五號十二 休日曜大祭 福島縣石城郡平町長橋町三五
 一ヶ月掛錢 廣告字詰一行 祝日ノ祭 發行所 常盤毎日印刷所 電話六三〇番
 郵税五厘 料五十錢 日刊 日曜大祭 福島縣石城郡平町長橋町三五 電話六三〇番

蓄音器・貴金屬
會田時計店
 平町四(電三六三)



肉聲其まゝの高級
 ビクターレコード枚一50錢
 日本物と音楽
 蓄音器針は
 ビクター針先 33.33
 一度御試聴下さい

看護婦派出
 の求めに應ず
 平町南町
平看護婦會
 電話三〇七番

御料理仕出し
 うどん そば
 天ぷら
 鰻蒲焼
 まつ屋

スター好
 ナフトール着尺
 新柄
 モス着尺
 新柄
 ホグシ銘仙
 其外色々取揃申候
 平町 (電話五七番)
龜田屋

永久不變 平町三丁目
 美術引伸 齋藤寫眞館
 寫眞專門
 獨逸最新式高級機械設備
 (電話呼三五九番)

最新型腕卷時計

◻クローム側白金代用側◻

十型十石入アングル	7.50錢
九型十石入上アングル	11.00圓
全十五石入上アングル	9.50錢
全十五石入上アングル	13.40圓
八型十五石入アングル	12.00圓
全十五石入上アングル	15.00圓

◻十八金側 金質保證◻

十型十石入上アングル	12.50圓
全十五石入上アングル	18.50錢
九型十五石入上アングル	15.00圓
八型十五石入上アングル	17.00圓

前店商屋釜目下五
 用御省道鐵
店計時堂光金
 (番六三七話電)

極上中學服入荷

一年生位	四圓五十錢
二年生位	四圓八十錢
三年生位	五圓十錢

平二 なかや洋服店 電二〇三

高久病院

院長 醫學士 高久 羽久
 副院長 新潟醫學士 赤羽 清忠
 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄

平町南町(舊診療所向)電話一七〇番
 平町田町 電話五二三番

新築移轉
耳鼻咽喉科專門
 氣管食道科

平町南町(舊診療所向)電話一七〇番
大和田醫院

燃料界の親玉徳用煉炭

良品は多言を要せず
 無煙無臭で火力強く
 火持のよい事素敵也

一個の御注文でも直ちに配達致します
 何卒御使用下さい

平町南町五〇
磐城殖産合同株式會社
 煉炭部
 電話四六番

座敷女中
 頼みたし

希望の方は至急面談
 平町田町
 牛島御料理 **石川亭**
 電話四三番

美味評判 **イウキ食堂**
 平町紺屋町(縣社通り)
 オ部の電話四六〇番

セメント
 壁用材料
 コールタール
 ベンキ塗料
 板ガラス

磐城セメント株式會社
 代理店 **西村屋藥舖**
 平町二丁目(電三)

内臓外科
 骨關節外科
 整形外科
 産婦人科

平町新川町
木村醫院
 院長 木村寅次郎
 電話一六四番

彼も彼女も
 さうして私も
 萬人が萬人.....
 うまいものは「うまい」に
 申します

シニークリーム一ツ五錢

平町四丁目
ヤトモツマ
 番四一二話電

御進物には
ヤマフルの商品券が一番

醤油味噌
 たひら正宗
 鰹節食料品

鹽屋
金山崎合名會社
 福島縣平町
 電話(營業部)一〇番
 (醸造工場)二七番

平商業學校の五年制 昨日の町會で決定す

昭和五年度から實施する 將來は縣立の見込

平商業學校の現在三年制を五年制に變更すべき件は昨日の平町會に於て満場一致の議決を見た、是れに依つて同校からは昭和五年度からの新入學生を

新制度

に當ては、現行の事なるのであるから本年の新入學生には從來と變りがない譯である、而して組織變更後は生徒数を定員五百名と爲し學級数は十學級とする、職員数は校長一名、主任教諭十六名、囑託一名、書記一名であり

授業料

を町内三圓五十錢、町外四圓(現在は町内二圓二十錢、町外二圓八十錢)と改められる將來は縣立にする見込みである、因に同校の沿革は左記の如くである

平商業學校の沿革大要

平商業學校は去る大正二年三月修業年限三ヶ年、常設商業補習學校として創立されたものであるが、時勢の進運に伴ひ

又地方

の要求に應じて更に適切な商業教育を施すの必要を認め、たが爲めに從來の組織を變更して大正九年五月から修業年限三ヶ年の商業學校に改め

教育機關の分布上 平商の昇格を喜ぶ

入學難も緩和されやう
吉田平商校長語る

福島縣を三分して濱三郡を以つて濱通りと呼び、中通り會津に對立して居る、今濱三郡に於ける教育機關に就いて見るに完全なる

中等學校

と見るべきものは中學三、高女二、實業一、合計六而して内三は相馬郡に在り、實業學校は相馬に、蠶蠶學校あるのみ、由來石城郡は縣下の大郡で何れの點より見るも縣下多數の市郡中常に首位を占たるものである、然るにこの

大郡たる

石城郡の教育機關としては僅々中學と高女の二を數ふるのみ、濱通りを會津及び中通りの教育機關の分布に對比せば最も劣れることは誰しも認むるところであり、その濱三

從來の田町の校舎に於ては到底設備の擴張を行ふ餘地なきに至つたので昭和三年五月元警城中學校々舎たる現在の校舎に移轉したのである、而して今や生徒定員三百名之を

六學級

に編成し職員十二名之れが爲に經常費約一萬八千圓(内平町負擔額約九千圓)を計上し修業年限三ヶ年の商業學校としては大略完成を見て今日に及んだのである

教育機關

はとり残されて居た、是れは甚だ遺憾として居た處であるが、今回町當局を始め町會議員の諸君が茲に着眼する處あり昨日の町會を以つて我が平商業學校を五年制に變更し中等教育機關としての面目を改め設備を一新する事に

議決を見

るに至つた事は當地方に於ける教育の普及より見て且つ入學難の緩和から考へ大いに喜びとする處である(平商業學校長吉田利吉氏談)

官製炭廢止

三坂村に於ける
石城郡三坂村に於ける官製炭所は十餘年前設置以來毎年三、四十萬俵以上の製炭を爲して居たが今年五月愈々豫定の施設計畫を終るのに廢止と決定した尙廢止に伴ひ製炭者五十餘名並に家族三百餘名の失業問題が起



家庭の節約料理

た節約料理
榮螺の壺焼
材料さ、え、焼豆腐、三ツ葉、さ、えは一人に一つ宛の割合で用意いたします、まづ

新道路貫通實施で 平町豫算増額修正

南町と材木町の二線路

平町昭和四年度豫算は委員會に於て元稅務署(現在星眼科醫院)の傍らから南裡道路に貫通すべき新道及び材木町の縣社前より南裡新道に連結すべき新道を開鑿せんが爲め歳出臨時部の土木費繼續費本年度支出額三萬七千四百七十二圓が四萬七千五百二十二圓に増額修正あり、此外各款項目に於ても多少の増減を見たが結局右の大工事實施の爲め歳入出總計提出豫算四十四萬九千八

義捐金寄附 平消防が募集

鹿島罹災者に
既報鹿島村の火災慘狀は見るに忍びないものがあり、平消防組にては町内から義捐金を募集し罹災者に贈り救済せん、奔走中であるが本日迄に是れが淨財三百卅七

れも最近組織變更をしたから女子の入學難は相當緩和されるであらうが獨り男子の

教育機關

はとり残されて居た、是れは甚だ遺憾として居た處であるが、今回町當局を始め町會議員の諸君が茲に着眼する處あり昨日の町會を以つて我が平商業學校を五年制に變更し中等教育機關としての面目を改め設備を一新する事に

議決を見

るに至つた事は當地方に於ける教育の普及より見て且つ入學難の緩和から考へ大いに喜びとする處である(平商業學校長吉田利吉氏談)

官製炭廢止

三坂村に於ける
石城郡三坂村に於ける官製炭所は十餘年前設置以來毎年三、四十萬俵以上の製炭を爲して居たが今年五月愈々豫定の施設計畫を終るのに廢止と決定した尙廢止に伴ひ製炭者五十餘名並に家族三百餘名の失業問題が起

募集

文藝其他投稿を募集します
代金五百圓)に及ぶ由にて平署柴崎刑事及び高橋駐在巡查に探知され昨日檢察

新入學生の 体格を檢査

平の小學校で

本年度平第一第二兩小學校に入學すべき就學兒童の体格檢査は來る廿五日午前九時より午後一時迄兩小學校に於て執行するべき筈であるが入學式は四月一日午前八時からである

平土木

監督所移轉

平署移轉で
平警察署となる元石城郡役所は去廿七日縣警務課及土

自動車學校 新設認可さる

平町新町吉田直之助氏が四軒町に新設すべき私立自動車學校は廿八日附を以つて加勢知事から認可さる

主家の

酒を盗み出す

其額百五十圓
石城郡江名町大字江名字北町居住山形縣生れ酒商佐々木正一郎(三)は大正十五年一月中から同町字新町酒造業吉原原平方に番頭として雇はれ昨年八月迄の間に主家より酒を二三升宛幾十回となく盗み出し一石五斗(

つ割にして小口から二分位のおつさに切つて煮出汁と醬油で薄味にきておきます以上材料をさぐりの穀の中に入れて上から醬油少々味淋をほんの二三滴位つき、蓋をして火にかけて程よくわたらばおろして鹽をもつた皿の上に落ち付きよくのせて供します

明日の天気
北西の風
晴たり曇
つたり